

おおむた市議会だより

第230号

令和6年度
9月議会

令和6年(2024年)11月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年度分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



8月12日開催

開館記念 バレーボール親善試合

SAGA久光スプリングス
VS
フォレストリーヴズ熊本

一流選手による小・中学生への
バレーボール教室を同時開催

おおむたアリーナで 一流選手のプレーを

9月28、29日開催

新築落成記念事業 T.LEAGUE
九州アスティーダホームゲーム

九州アスティーダ
VS
木下アビエル神奈川
京都カグヤライズ



平野 美宇 (木下アビエル神奈川)
パリ2024五輪卓球女子団体に銀メダル

張本 美和 (木下アビエル神奈川)
パリ2024五輪卓球女子団体に銀メダル

【主な記事】

◎決算特別委員会を設置し、令和5年度会計の決算を審査しました／ぎかいの話題(2、3ページ)

◎パリ2024五輪銅メダリスト高嶋理紗選手が母校の玉川小学校に凱旋報告／おおむた自慢(12ページ)

決算特別委員会を設置し、令和5年度会計の決算を審査しました

令和6年9月議会において、議員全員で構成する決算特別委員会（森田義孝委員長、豊福達也副委員長）を設置し、9月17日から20日までの間、令和5年度の各会計決算関係議案7件について審査を行いました。

委員会では、観光の振興に関すること、子育て支援に関すること、空き家・空地対策に関すること、ふるさと納税に関することなど、幅広い視点から議論が交わされました。

その後、決算特別委員会における67項目の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書を取りまとめ、9月議会最終日には、全ての各会計決算を認定しました。

決算特別委員会における意見・要望(抜粋)

●ふるさと納税に関すること

企業版ふるさと納税については、2025年3月に現行制度の期限を迎えるが、制度が延長になる可能性もあることから、地域活性化や社会貢献に取り組む企業と連携するなどして、持続可能な地域づくりを促進してほしい。

●避難所に関すること

避難所機能強化事業については、防災の観点から、避難所となる小・中学校の体育館に空調設備が必要となっていることから、教育委員会と連携し、財源確保に努めてほしい。

●消防団に関すること

消防団の力向上モデル事業については、ドローンの導入や操縦資格の取得等を行っているが、今後も、大規模災害等に備えた訓練等に努めてほしい。

●障害者支援に関すること

就労継続支援A型事業所については、報酬改定に伴い成果主義が取り入れられ、事業収益から工賃を支払われることにより、運営が厳しくなる懸念があることから、適切な助言・指導に努めてほしい。

●文化会館の維持・管理に関すること

大牟田文化会館大ホール等の改修については、改修により使用できない時期があることで、市民が文化芸術に触れる機会や、発表する場の減少が懸念されることから、計画的に行い、利用者に影響が及ばないように、より一層工夫してほしい。

●校区まちづくり協議会に関すること

校区まちづくり協議会活動促進事業については、校区まちづくり協議会の自主事業が住民の楽しみとして継続できるよう、さらなる金銭的支援、人的支援を講じてほしい。

(1万円未満四捨五入)

一般会計及び特別会計		歳入	歳出
一般会計		652億5,230万円	648億2,214万円
特別会計	国民健康保険	145億1,350万円	138億631万円
	介護保険	134億9,037万円	131億6,618万円
	後期高齢者医療	21億3,283万円	20億8,309万円
	病院事業債管理	11億6,622万円	11億6,622万円
事業会計		収入	支出
水道		25億4,994万円	22億8,002万円
公共下水道		39億6,457万円	34億2,135万円

●農業振興に関すること

農村環境整備事業については、公共工事だけでなく、中山間地の農業を守ることができるような柔軟な予算措置をしてほしい。

●水道事業に関すること

水道事業については、極めて公共性の高い事業であることから、今後の厳しい経営状況においても、安全で良質な水をできるだけ安価に市民に提供するよう、引き続き努力してほしい。

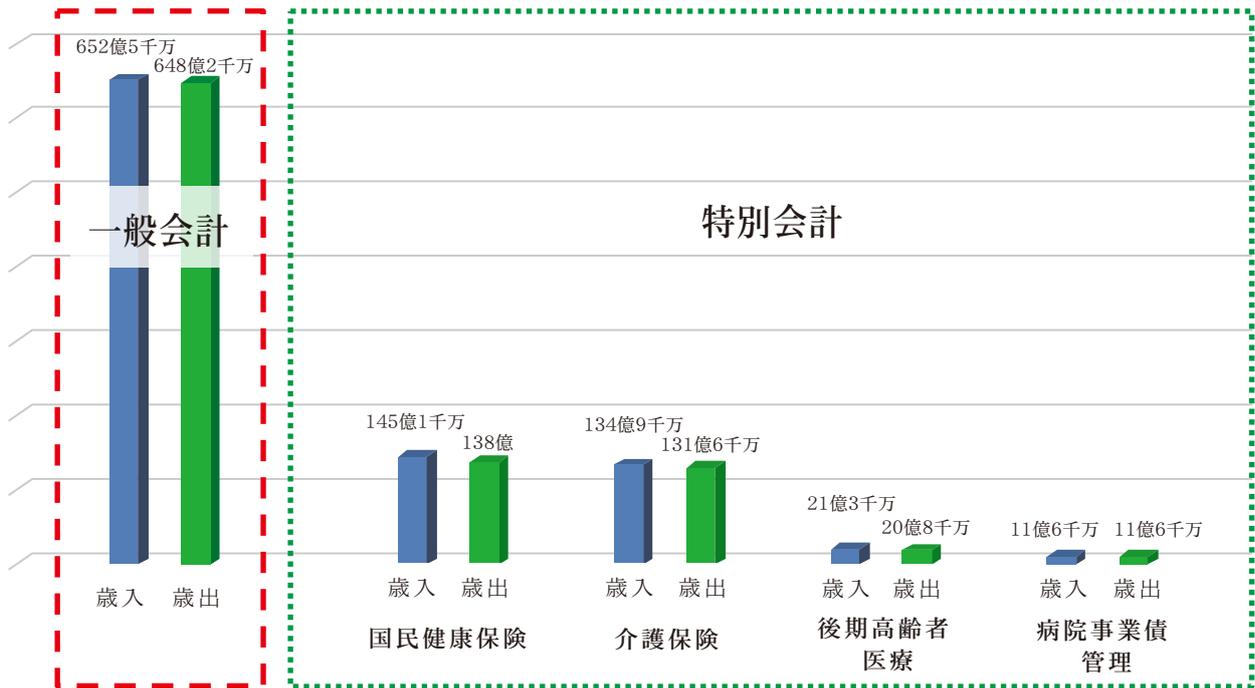
●ごみ処理に関すること

有料指定ごみ袋については、以前より薄くなり、すぐ破れるとの声もあることから、破れにくい材質に改善してほしい。

●災害復旧に関すること

三川ポンプ場災害復旧建設については、工事を着実に進めるとともに、完成を待つ市民に対し、引き続き工事の進捗具合等を周知してほしい。

(1千万円未満切り捨て)



令和6年度の議会報告会・意見交換会を開催しました

地域の皆様との議会報告会・意見交換会は、8月に大正小学校ミーティングルーム、おおむたアリーナ、勝立地区公民館の3会場で開催しました。

10月からは、学生（高校・帝京大学・有明高専）の皆様及び子育て世代の皆様との意見交換会を予定しています。

地域、学生及び子育て世代の皆様からいただいた御意見は、11月末を目途に市に伝えていくとともに、今後の議会活動に生かしていきます。

なお、今年度の議会報告会の詳細は、次回以降の本紙やホームページで改めて報告いたします。

会場	日時	参加人数
大正小学校（ミーティングルーム）	8月1日（木） 19：00～20：30	20人
おおむたアリーナ	8月3日（土） 10：00～11：30	11人
勝立地区公民館	8月28日（水） 19：00～21：00	40人

本会議運営のあらまし

令和5年度決算の認定、
令和6年度一般会計補正
予算など可決

9月議会

令和6年度9月議会は、9月2日に招集され、9月26日までの25日間の会期で運営されました。

9月議会で審議した議案等は、令和5年度の各会計決算7件、専決処分に関する議案1件、予算議案5件、条例議案6件、その他の議案5件、報告9件、人権擁護委員の推薦の諮問3件、意見書案9件及び選挙2件の計47件でした。

専決処分の内容は、物価高騰の影響を受ける市民への支援として、低所得者支援給付金に要する経費となっていま

す。

また、一般会計補正予算の主な内容は、まちなか再生に向けた「(仮称)UDCおおむた」設立への支援などに要する経費となっています。

本会議では、少子化や人口減少対策等への取組などの諸課題に11人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、令和5年度各会計決算議案は決算特別委員会に付託し審査を行いました。

本会議終了日までに、意見書案の発議6件を除いた議案、発議、諮問及び選挙を、それぞれ承認、可決、認定、決定、異議なき旨答申することに議決して本会議を閉会しました。

議会日誌(8月～9月)

- 【8月】 2日 各派代表者会、議会運営委員会
- 8日 広報広聴委員会広報部会
- 26日 各派代表者会、議会運営委員会
- 27日 市民教育厚生委員会
- 28日 都市環境経済委員会
- 29日 広報広聴委員会広聴部会
- 【9月】 2日 総務委員会、本会議〔開会〕、
広報広聴委員会広報部会
- 6日 本会議〔質疑質問〕
- 9日 本会議〔質疑質問〕
- 10日 本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
- 11日 総務委員会、市民教育厚生委員会、
都市環境経済委員会、
- 13日 各派代表者会、議会運営委員会、
本会議〔決算議案を除く議案等採決〕、
決算特別委員会、広報広聴委員会広報部会、
広報広聴委員会広聴部会
- 17日 決算特別委員会
- 18日 決算特別委員会
- 19日 決算特別委員会
- 20日 決算特別委員会、起草委員会
- 24日 起草委員会
- 26日 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、
本会議〔決算議案等採決、閉会〕、
市民教育厚生委員会、
広報広聴委員会広聴部会

委員会メモ

大牟田市国民健康保険条例の
一部を改正する条例について

【総務委員会】

9月2日の委員会で、大牟田市国民健康保険条例の一部改正を行う旨の説明を受けました。

国民健康保険法の一部改正により国民健康保険の被保険者証が令和6年12月2日以降発行されなくなることに伴い、関係規定の整備を図るため、条例の一部を改正するものです。

公立保育所の充実と
今後について

【市民教育厚生委員会】

8月27日の委員会で、公立保育所の充実に向けた検討状況と今後の取組について説明を受けました。

今後、市内事業者からの意見聴取を踏まえ、公立保育所が担うべき役割の具体化や、それらを実現するためのハードとソフトの整備について、さらなる検討が進められる予定です。

ごみ処理基本計画の
中間見直しについて

【都市環境経済委員会】

8月28日の委員会で、令和元年に策定した大牟田市ごみ処理基本計画については、令和6年度が中間目標年度となるため、中間見直しを行う旨の説明を受けました。

現計画の進捗状況や排出実態に応じた数値目標の見直しを行い、目標達成のための新たな取組の追加や、既存の取組の拡充等が行われる予定です。

議案等の審議結果

議案等名	議員名	自由民主党市議団					民主・護憲クラブ				公明党議員団			無所属		賛成数	審議結果								
		森遼	江上しほり	桑原誠	徳永春男(議長)	豊福達也	中原誠悟	光田茂	森竜子	山口雅夫	松尾哲也	奥村橋倫	櫻井ちはる	船原基近	古庄和秀			森田義孝	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	山田修司	北岡あや	崎山恵子
発議 第9号	パレスチナ・ガザ地区における即時かつ恒久的な停戦を求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決
発議 第10号	健康保険証の廃止を延期し、今の健康保険証の存続を求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決	
発議 第11号	改正地方自治法の慎重な運用と抜本的な見直しを求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決	
発議 第12号	大学学費の負担軽減を求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決	
発議 第13号	訪問介護の基本報酬引下げの早急な見直し等を求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決	
発議 第14号	労働基準法「改正」をやめ、労働者の心身の健康と生活を守る意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決	
発議 第15号	相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件の再発防止及び関係自治体への迅速な情報共有の徹底を求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	13	多数可決
発議 第16号	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書案	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	16	多数可決
議案 第17号	令和5年度大牟田市一般会計決算の認定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	認定
議案 第18号	令和5年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	認定
議案 第19号	令和5年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	認定
議案 第20号	令和5年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	認定
議案 第30号	大牟田市中小企業融資制度に係る中小企業者等の事業の再生のための措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	多数可決
議案 第31号	大牟田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	多数可決
議案 第38号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わるできません。

下記議案等については全員賛成で承認、可決、認定、決定、異議なき旨答申することに議決。

議案 第16号	専決処分について(令和6年度大牟田市一般会計補正予算)
議案 第21号	令和5年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について
議案 第22号	令和5年度大牟田市水道事業会計決算の認定について
議案 第23号	令和5年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について
議案 第24号	令和6年度大牟田市一般会計補正予算
議案 第25号	令和6年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
議案 第26号	令和6年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
議案 第27号	令和6年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案 第28号	令和6年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
議案 第29号	大牟田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第32号	大牟田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第33号	大牟田市立中学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第34号	令和5年度大牟田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び積立金の目的外使用について
議案 第35号	令和5年度大牟田市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案 第36号	請負契約の変更契約の締結について(大牟田市歴木地区三田堤改修工事(その2))
議案 第37号	損害賠償請求の和解について
議案 第39号	大牟田市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(奥蘭公明氏)
諮問 第2号	人権擁護委員候補者の推薦について(池田美子氏)
諮問 第3号	人権擁護委員候補者の推薦について(田中雅美氏)
発議 第17号	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書案
選挙 第1号	大牟田市選挙管理委員の選挙
選挙 第2号	大牟田市選挙管理委員補充員の選挙

住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の構築



動画視聴



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

考えは。

答 国の支援がない場合、大きな財政負担が生じることになるため、実施は難しいと考える。

再発言 国の責任として、

国や県に財源を求めてほしい。

答 建物被害が全壊 1,529 棟、半壊 1,407 棟、人的被害としては死者 87 人、負傷者 1,628 人と想定されている。

問 災害時の共助が重要だが、共助の役割について聞きたい。

答 大規模災害時には公的機関も被災するため、迅速な支援は困難。被害を軽減するには日頃の備えや地域とのつながり、防災活動が重要。

問 熱中症対策の観点から避難所となる学校の体育館への空調設備設置の必要性は。

答 現在、特別教室への空調設備設置を進めており、体育館への設置は他都市の動向を注視したい。

再発言 空調設備設置の検討を改めてお願いします。

問 公共下水道白川排水区整備事業（第 2 期）の内容は。

答 健老町周辺地域の浸水緩和を目指し白川ポンプ場のポンプ増設や、雨水管渠整備を計画している。

再発言 地元への工事の連絡と協力を得ながら無事故で取り組んでほしい。

少子高齢化・人口減少への対応

問 少子化の改善に不可欠である若者の働き方・雇用環境の改善に関する市長の認識は。

答 働き方改革や雇用環境の改善は、少子高齢化・人口減少への対応として重要な取組と認識している。

問 市内高校生の市内企業への就職状況と就職支援策は。

答 令和 5 年度の高校卒業生数 1,140 人に対し、就職者数は 299 人で、そのうち 81 人は市内企業に就職している。

また、就職支援として高校等の就職担当の先生を対象とした企業との懇談会や企業見学会、高校生を対象とした就職ガイダンス、企業紹介冊子の配布などに取り組んでいる。

再発言 就職指導体制の強化や学生と事業者のミスマッチの解消が必要。

また、若者定住支援や結婚支援、子育て支援等の一体的な取組などを求めたい。

世界遺産登録 10 周年記念事業

問 令和 7 年に世界遺産登録から 10 周年を迎えるが、記念事業をどう考えているか。

答 これまで協力をいただいた地域や学校、ガイドの方などへ感謝の気持ちを示す機会を設けたい。また、三池炭鉱による発展の歴史の偉大さを感じられるものを企画したい。

再発言 10 周年記念事業で本市の世界遺産が改めて注目されることを期待する。さらに、100 周年へ向けて、保存と活用の取組をお願いしたい。



災害に強いまちづくり

問 本市周辺の活断層が動いた場合、最大震度 6 弱の地震が想定されるが、本市への影響は。

孫育て支援事業 (祖父母手帳)

問 共働きやひとり親家庭も増加傾向にある中、子育てには祖父母も関わるが、祖父母世代への子育て支援の取組は。

答 子育ては親だけではなく、祖父母をはじめ周囲の温かいサポートが大切だと考える。

今後、祖父母手帳の配布やホームページ等による周知啓発を行う予定としている。

給食費の無償化

問 給食費の無償化に対する

少子化と地方創生に対する市長の政治姿勢は



動画視聴



自由民主党市議団
桑原 誠 議員

に所在する魅力的な産業や企業を知っていただく取組などを進めたい。

インバウンド観光への取組について

問 訪日外国人

人数が令和5年で2,507万人、令和6年は3,310万人の訪日が予測されている。その消費額は約7兆円で、自動車輸出産業に次ぐ大きな外貨獲得の産業として成長しつつあるが、インバウンドを本市でも誘致できる環境づくりの取組は。

答 本市の公式観光サイト、おおむたOne plateに、外国語パンフレットの掲載や、サイトの多言語化を行うなど、充実を図っていく。

関係機関や近隣自治体と連携・協力しながら、インバウンドへの取組を進めていく。

学校教職員の働き方改革について

問 教職員の働き方の現状は。

答 本市教職員の長時間勤務の現状は、令和5年度において1か月の超過勤務平均時間が、小学校は44時間6分、中学校・特別支援学校が41時間4分となっている。

I C Tの導入による勤務時間の適正な把握や、定時退校日の推進、学校閉庁日の設定などにより削減に取り組むとともに、しっかりと子供と向き合えるよう、学習指導員

や学校支援スタッフの全校配置などの対応も進めている。

再発言 本年7月に視察した千葉県柏市の手賀西小学校では、一般教職員の残業時間ゼロを実現しており、不登校児童もゼロとのこと。

教職員のゆとりが生徒に与える影響は大きいと考えられるので、ぜひ継続して取り組まれない。

本市出身選手のパリ五輪銅メダル獲得に対する市長の所感について

問 パリ五輪銅メダルを獲得された高嶋選手に対して、市長は、いち早く市政功労者として表彰し、祝意を表していただいているが、関市長の所感は。

答 大変な快挙を成し遂げられた高嶋選手に、市民を代表して心よりお祝いを申し上げます。また、高嶋選手のこれまでのたゆまぬ努力に対し、心から敬意を表する。

本市の子供たちにとっても、チャレンジする強い勇気と努力はいつか実を結ぶという大きな希望を与えていただいたものと思っている。



高嶋選手の玉川小学校での凱旋報告の様子

少子化と地方創生について

問 2014年に日本創成会議から消滅可能性都市が公表され、本市もその可能性がある都市とされていたが、本年4月の発表で、消滅可能性都市から脱却を果たしている。

地方創生に取り組む成果が一定あったと分析できる一方で、それでも20代から30代の若年女性人口減少率は約41%である。

若年女性人口減少率の低減が人口減少対策の解決の鍵になると考えるが、見解は。

答 人口減少に対応するため、人口移動の改善や合計特殊出生率の向上はもとより、次世代を育む若い世代の増加に向けて、若者が安心して働ける雇用の場を増やし、子育てや教育環境を充実させることが必要と考える。また、若者が安心して働ける雇用の場を増やしていくため、イノベーション創出拠点や新大牟田駅産業団地を活用したIT企業・ものづくり企業などの企業誘致を進めるとともに、産業フェスタの開催をはじめ、本市

市民のよりどころとなる新庁舎整備を



動画視聴



民主・護憲クラブ
森田 義孝 議員

令和6年度市の方針と 主な事業の考え方

問 市の方針として、三つのまちづくり、「若者が夢を持って働くまちづくり」、「子育て世代に魅力的なまちづくり」、「誰もが安心して元気に暮らせるまちづくり」と、二つの約束、「まちなか再生による活性化」、「災害につよいまちづくり」の実現に向けた主な事業を掲げられている。

令和6年度の方針と主な事業について、市長の考えは。

答 延命公園を中心とした、にぎわい交流エリアの創出をはじめ、官民連携による未来ビジョンに基づくまちなかの活性化、イノベーション創出拠点や新大牟田駅産業団地を活用したIT企業・ものづくり企業等の企業誘致、さらには、流域治水の観点を含めた排水対策などの取組を進める。

誰一人取り残さない 学びの保障の具体的な内容

問 誰一人取り残さない学びの保障では、不登校生徒の多様な学びの場の確保や、夜間中学「ほしぞら分校」におい

て、学び直しの支援を行うこととされている。

誰一人取り残さない学びの保障の具体的な内容は。

答 昭和教室の活用はもと

より、校内教育支援センター、ハートフルルームの設置、地区公民館へのサテライトスペースの開設、市費によるスクールカウンセラーの配置を進めている。

また、ICTの活用や民間施設等との連携を通して、児童生徒や保護者に必要な支援を行うなど、社会総がかりで不登校児童生徒を支援するシステムを構築し、誰一人取り残さない学びの保障に努めている。

市庁舎整備の基本計画策定に 向けた考え方とプロセス

問 新・庁舎整備に関する基本方針では、将来を見据えた「機能性」と「経済性」の両立を基本とし、大牟田市庁舎整備基本構想を本年度中に策定することとなっている。

基本計画策定に向けての考え方とプロセスは。

答 大牟田市庁舎整備基本構想（案）においては、基本理念、庁舎全体の規模、既存庁舎などの取扱い、新庁舎の敷地、事業手法など、事業の大枠に関する議論を進めている。

令和7年度から着手する予

定にしている基本計画については、これらの内容をより具体化することを想定している。

主な内容としては、市民窓口や執務室など、機能ごとの床面積や、防災、構造、環境、設備などの性能について検討を進めることとなる。

再発言 新庁舎整備に当たっては、議会や市民、行政職員からの意見をしっかりと反映することが必要不可欠であり、その機会の提供と行政の説明責任を果たすことが重要。

「まちとともに生まれ、市民のよりどころとなる庁舎」を目指すとともに、庁舎のコンパクト化や事業費の縮減などに向けた、さらなる検討を進め、市民が納得できるような基本計画の策定となることを強く要望する。



大牟田市動物園整備 基本計画の進捗状況

問 動物園整備基本計画の進捗状況は。

答 今後、整備基本計画を踏まえつつ、事業費の精査や整備内容等の再検討を行う。

また、活用できる財源についても検討が必要と考える。



**認知症コミュニケーション
ケア技法(ユマニチュード)**

問 認知症の人の尊厳ある暮らしを守るため、ユマニチュードに取り組むことで、認知症の方を支える具体的な技法

を学ぶことができると考えるが、見解を聞きたい。

答 認知症コーディネーター養成研修では、ユマニチュードを活用し、認知症フレンドリーシティを目指している福岡市を視察する予定であり、その取組を今後の施策に生かしていきたい。

再発言 本市が積み上げてきた認知症ケアへの取組に加えて、新たなユマニチュードの視点も取り入れて、誰もが安心して暮らせるまちになるよう取り組んでほしい。

**文化・芸術を通じた
人づくり、まちづくり**

問 子供たちが文化・芸術に触れることのできる取組の現状と課題について聞きたい。

答 まちの芸術家派遣事業や日フィル交響楽団大牟田公演への大牟田未来応援シートの設置、音楽鑑賞会等の取組を行っている。子供たちが文化・芸術に触れる時間的余裕がないなどの課題があるため、その機会・取組の充実や文化芸術の情報発信の強化が必要。



**ヤングケアラー支援の強化と
一人ひとりに寄り添った
支援体制の構築**

問 現状と今後の取り組みは。
答 現在集計中の無記名式のアンケート結果を踏まえ、実態調査の必要性、ヤングケア

ラーへの支援策等について検討することとしている。さらなるヤングケアラーの把握と支援強化のため、関係機関職員との理解を深めていきたい。

**大牟田駅東口(観光
プラザ横)・西口の
分煙施設等の整備**

問 市たばこ税の収入額は。
答 令和5年度収入額は約9億2千万円。

問 駅東口横の喫煙場所には、この税の活用を含めた分煙施設等の整備が必要では。
答 今後、有効な手だてを検

討していきたい。

再発言 駅西口には、喫煙場所がなく、煙や臭い、吸い殻など苦情が多いため、早急に分煙施設等を整備してほしい。

**多くの登山者が訪れる
三池山の駐車場と
案内板の整備**

問 駐車場整備が必要では。
答 今年度、駐車場を整備する場所について、地元関係者との合意形成を図りたい。

再発言 駐車場から登山道入口までの案内板についても併せて設置してほしい。



**新型コロナウイルス
感染症対策について**

問 新型コロナウイルス感染症対策について、市の見解は。
答 引き続き、マスクの着用を含む咳エチケットなどの基

本的な感染防止策をお願いしていきたい。10月からは、65歳以上の高齢者等への、定期予防接種を開始する。

空き地・空家対策について

問 空き地・空き家に対する市の考えは。

答 空き家については、適正管理、予防、利活用、除却に加え、市場流通の施策が必要。空き地については、対面により指導文書を交付し、早期の対応を求めている。

地域公共交通について

問 本市の厳しい公共交通の現状に対する市の考えは。

答 地域で暮らす誰もが、安心して移動できる公共交通体系のサービス構築を目指す。

問 JR銀水駅のトイレ改修に対する市長の思いは。

答 地域の熱い思いを受け止め、令和7年2月中の完成を目指し鋭意取り組んでいる。

再発言 高校3年生が卒業する前に式典を開催してほしい。

一般質問



新栄町駅前地区 市街地再開発事業の推進

問 事業の実現に向け、行政も指導・アドバイスという立場でなく一緒に取り組む必要があると思うが、見解は。

答 中心市街地の活性化につながる重要な事業であるため、早期に実現化の見通しをつけ、これまで以上に取組を加速させていきたい。

再発言 市長自らの動きに期待する。都市計画決定に向けた準備を今年度中に行い、新年度から始動を。

本市が目指す 動物園の将来像

問 施設整備基本計画の9月補正予算への計上が見送られたが、今後のスケジュールは。

答 早急に指定管理者との間で整備内容の見直しと事業費の圧縮を検討する。

整備スケジュールは遅れるが、動物園の魅力向上と来園者の増加等を実現するため、基本計画に掲げる施設整備を全力を挙げて進める。

再発言 経済波及効果がなければ、ただの投資で終わってしまう。目的を達成するまで責任を持って取り組み、スケジュールも極力当初に合わせることや、有利な財源の確保を要望する。



夏休み児童預かりモデル 事業継続と補助金の拡充を

問 学童保育所の待機児童解消を目的に行われた夏休み児童預かりモデル事業の令和6年度の利用状況は。

答 公募により3園で実施しており、合計で118名が利用している。

問 この事業は、働く保護者のニーズが高く、本市独自の子育て支援の取組で、全国的に誇れる事業だが、施設の光熱費等が大きな負担と聞く。補助金拡充の見直しを踏まえた事業継続についての見解は。

答 各事業者や利用者へのアンケートの集約後、分析等を行い、事業の継続や内容の見直し等を検討したい。

再発言 補助金の拡充と、事

業の継続を強く要望する。

まちなか再生アーバン デザインセンター (UDC)の新設

問 UDC設立及び活動支援に1,600万円が提案されているが、まちなか活性化におけるUDCの立ち位置は。

答 具体的なプロジェクトの実施主体ではなく、全体プロデュースの役割を想定。UDCが調整役を担い、官民で構成する実施チームが主体となってプロジェクトを進めていくことを想定している。



スポーツ・芸術・観光や 産業等の魅力発信による 「まちづくり」について

問 スポーツと芸術による交流人口と内需拡大のため、サッカー場やアーチェリー場の整備、緑地運動公園の全面改

修、青少年スポーツ合宿所の整備及び質の高い芸術鑑賞の場の設置が必要では。

答 サッカー場やアーチェリー場は、財源や場所等課題解決に向け検討を行う。緑地運動公園は、全面改修も含めた維持補修等を県に要望している。スポーツ合宿所は、学校跡地活用も視野に関係機関と協議を進めたい。芸術鑑賞（美術館）では、優れた作品の魅力に触れる機会を創出したい。

問 市全体を観光資源と考え、動物園の名称変更や園内回遊

カートの利用による魅力発信に加え、民間団体等と連携し、産業遺産と昭和レトロの魅力で観光客の誘致を拡大しては。

答 動物園を含め、今後も民間団体・事業者等を支援し、観光振興に取り組んでいく。

問 石炭館の名称をコール&ケミカル・ミュージアムと変更し、石炭にゆかりのある企業紹介等で魅力を発信しては。

答 市内大手事業所と連携し、石炭産業から現在までの歴史等を紹介することで、館の魅力向上にも寄与すると考える。



お試し居住について

問 現在、本市への移住を検討されている市外在住者を対象に、お試し居住を草木で実施しているが、本市の特性を

生かすため、中心市街地、海側や山側など、複数の地域で実施できないか。

答 ニーズがどの程度見込めるのか、物件の状態や立地条件はどうかなどを検証の上、検討していく必要がある。

問 市職員のうち、市外在住者はどの程度いるのか。

答 職員の4分の1程度となっている。

問 本市の売りである住みやすさは、住んでみないと分からないと思うため、市外在住の職員にお試し居住の利用を

促してみてはどうか。

答 市外の方に暮らしやすさを実感していただくための取組であり、市職員の利用は現在考えていない。

再発言 大牟田市シティプロモーション戦略では「市職員は広告塔という意識が求められる」と明記されており、市外在住の職員は本市の魅力を知る必要があると思う。

市内居住を強制することはできないが、促す機会として、市外在住職員のお試し居住の利用を検討されたい。



小中学校への早急なエアコン設置を

問 教室や給食調理室へのエアコンの設置状況は。

答 普通教室は全て設置し、特別教室は、学校ごとに利用

頻度の高い教室への設置を完了している。その他の特別教室は、学校の要望を聞きながら計画的に設置している。給食調理室については、今年度、基本設計に取り組んでいる。

問 給食調理室に設置されるのはいつか。

答 基本設計の内容を確認しつつ、令和7年度以降、計画的な設置に向けた検討を行う。

問 小・中・特別支援学校の体育館への設置状況は。

答 特別支援学校の体育館には、体温調節が困難な児童生

徒への学習環境整備のため、令和5年度に設置している。

小・中学校の体育館は、エアコンの効率を高めるために建物の断熱性も必要であり、全体工事費が大きくなることに加え、管理費、修繕費、更新費等を考慮すると慎重にならざるを得ず、まずは他都市の動向を注視したい。

再発言 異常な暑さを鑑みると、給食調理室には、計画を前倒して早急に進め、体育館にも、市として前向きにエアコン設置を検討すべき。

行政視察受入実績

行政視察受入(8月～9月)

月	日	都道府県	団体名	視察項目
8	2	大阪府	八尾市議会	・防災・減災の取組について
8	7	北海道	岩見沢市議会	・地域包括ケアシステム「認知症」「生活困窮」に対する支援について

インフォメーション

■次の定例会は12月です

詳細については、議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

スマートフォン等でも議会中継(生中継・録画中継)が視聴できます。



■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画(過去5年度分)を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで12月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。

ホームページでも12月上旬から閲覧・検索できます。

パリ2024五輪銅メダリスト 高嶋 理紗 選手が 母校の玉川小学校に凱旋報告



パリ2024五輪のフェンシング女子サーブル団体で日本チームの銅メダル獲得に大きく貢献をされた本市出身の高嶋理紗選手が、8月16日に母校である玉川小学校を訪れ、凱旋報告会が行われました。

高嶋選手は、児童たちに銅メダルに触れさせながら交流を図るとともに、パリ2024五輪の話や応援への感謝の意を述べられました。

また、将来は大牟田に戻り、競技の普及に向けて役に立ちたいとの抱負を述べられ、会場からは温かい拍手が送られました。

消防団が第27回福岡県消防操法大会に出場



大会前に出場選手による
議長と総務委員会正副委員長への表敬訪問

9月1日（日）、福岡県消防学校（嘉麻市）において開催された「第27回福岡県消防操法大会」では、本市の消防団もポンプ車の部に出場し、各分団の多くの関係者や市議会の有志などが応援に駆け付けました。

今大会では、優勝という大きな目標を掲げて、各分団の若手団員による選抜チームを結成し、小川和雄監督（団本部）の指揮のもと、坂井公博選手（羽山台分団）、トダガランセルジ選手（大正分団）、小川洸平選手（羽山台分団）、久富拓人選手（白川分団）、ブィ・ニュー・イー選手（高取分団）、前田翔輝選手（白川分団）は、6月から2か月半にわたり、天候を問わず、練

習を重ねられました。

また、今回のチームには、2名の外国人選手が参加していたことから、今まで以上に選手間のコミュニケーションを密にして臨まれました。



本番では、24チームが速さや正確性などを競い合い、本市消防団は7位という成績を収めました。優勝こそ逃しましたが、訓練を重ねてきた選手や、応援に駆け付けた各分団の関係者には笑顔があり、これまで積み上げてきた経験や仲間との信頼関係など、何物にもかえがたいモノを得られたようでした。

日頃の消防活動や災害時の救助活動などで、市民の安全・安心を守る消防団の活動からは、今後も目が離せません。

議会では、引き続き、消防団活動を応援していきます。

編
集
後
記

決算特別委員会では、猛暑が続く中での審査となった関係が、市民の健康、エアコン設置及び災害についての質問が目立ったように思います。これから議会では、学生、子育て中の保護者との意見交換を行うことで、若者世代の意見を市政に反映し、安心して子育てができる大牟田を目指していきます。（K）

■編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】大野哲也 【副委員長】北岡あや
【委員】光田茂 山口雅夫 櫻井ちはる

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880
E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

■印刷 株式会社 江崎印刷所